

# 1. レッスン終わりに…

S主人公 ヒロインの側に立っている  
Sヒロイン ベッドに飛び込んだ後は、ベッドの上に座りながら会話

◇部屋のドアを開ける音

【前 30 cm程度/通常】

ただいま…

◇ヒロインベッドに飛び込む音

つ、疲れたあ…

いやあ、今日のレッスンは一段と充実していたねー

えへへ、明日のライブのことを考えるといつも熱が入っちゃった

(少しの間)

えーだって、明日はついに念願の初ライブなんだよ

明日来てくれる人たちのためにも、もっと良い状態に仕上げなきゃ…

つてつい張り切っちゃったんだもん

(少しの間)

//素直に聞き入れている感じで

うん、わかつてる、本番前なんだから本当は体を休めなきゃだよね

ライブ当日に頑張りすぎて怪我とかしちゃつたら元も子もないし  
でも、やっぱり明日のことを考えると、いても立つてもいられなくなっちゃって…

アイドルになってステージで歌うっていう夢が明日やつと叶うんだもん  
確かに今日はサラッと調整くらいに抑えて明日に備えるってのはプロとして大切だと思うよ

でもやっぱり初めてのライブなんだもん、自然と体を動かしてみたいって気持ちになっちゃうよ  
…え? 「緊張してるのか」って?

えへへ、やっぱり分かっちゃうよね…

子供の頃からずっと憧れていたアイドルとして明日ステージに立つんだって思ひど  
すごく楽しみで、ワクワクして…

体がふわあって中に浮いてしまいそうなフワフワした気持ちになるの

実はね、ここ1週間くらいじゅうといんな気持ちになつて、ちょっと落ち着かなかつたんだ

(少しの間)

そ、 そななの?

あはは…やっぱり君にはバレちゃつてたか

//少しおどけた感じで  
さすが、マネージャー兼プロデューサーさん、担当アイドルのことは何でもお見通しなんですよ!

(少しの間)

…うん、 そだよね

今のアイドル活動を始めるよりも、もう何年も前から私と君はずつと一緒にいるんだもん  
私が舞い上がりちゃってるのもバレバレか

私が今の事務所に入れることになつたのも、

元はと云えれば君がマネージャーとして熱心に売り込みをかけてくれたからだつたもんね  
私がやつぱりアイドルになりたいって君に思い切つて打ち明けた時、

真剣な顔で想いを聴いてくれて…

「俺がお前のマネージャーになつてやる!」

つて言つてくれた時は、びっくりしちやつたよ

でも…すつぐ嬉しかつた…

ふふ…でもまさか、私が今の事務所に入つた後も君がそのままマネージャーになつちゃう  
なんて思いもしなかつたけど  
ねー、いくらできたばかりの小さな事務所だからって、アイドルと幼馴染の学生にマネージャー  
をやらせちゃうのは予想外すぎるよー

でもね…本当は、君が私のマネージャーを続けてくれるつてなつた時、とつても安心したんだ  
よ?

…うん、 実はいざ実際に事務所に入つてアイドル活動を始めるつて決つた時は、ちょっと不安  
な気持ちもあつてさ

「私にちゃんとできるのかな…」つて臆病になつていたの…

そんな時、君がこれからもマネージャーとして私のそばにいてくれるんだつてわかつて  
すじく、勇気をもられたんだよ

君が支えてくれたから、学校もレッスンも思いつきり頑張れた  
ずっと憧れていたアイドルとしてステージに立つ夢も、もうすぐ叶えられるといつまでもいた  
ここまで来れたのは、事務所の社長さんや事務の天乃さん、同じレッスン生のみんな  
そして…何より君がいつも私の近くで助けてくれたからなんだよ  
本当にありがと

(少しの間)

え、えへへ…ライブ前で「ンショーンがおかしくなつちゃったのかな?  
すゞく恥ずかしい」と言つちゃつたかも…

(少しの間)

ね、ねえ? もつと恥ずかしいお願いしてもいいかな?

うん、明日頑張れるように、初めてのライブを最高のものにできるように…  
私に、勇気をください